



センシングに関する最新情報を求め多くの来場者が訪れた(センサエキスポジャパン2023=主催者提供)

# 計量計測展 / センサエキスポ

など3展示会

東京ビッグサイト きょう開幕

## 計量計測展

INTERMEASURE 2024

18日から20日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイト東1-2ホールで「計量計測展」「センサエキスポジャパン」「総合検査機器展」の3展示会が開催される。開場時間は10時～17時。入場料は無料(事前登録制)。いずれかの展示会に来場登録すれば、ほかの展示会にも入場できる。

などを多数展示するほか、大学や研究機関から計量計測に関する最先端技術、基礎技術、情報などの紹介も行う。

18日12時から東2ホールの「はかるプラザ」で、特別企画「#はかる 第1回はかる1グランプリ」を開催する。お笑い芸人のジグザグジギー、ぱりぱりなど6組が「はかる」を取り入れたネタを披露し、参加者の笑いや拍手を「はかる」でグランプリを選出する。優勝者には賞金20万円が贈られる。座席は先着順。

19日13時からは会議棟6階で計測標準フォーラム、日本計量機器産業連合会、産業技術総合研究所計量標準総合センターの共催による「計測標準フォーラム第22回講演会」が開催される。「グリーントランスフォーメーション(GX)における計量標準・計測技術の活用」をテーマに、計量標準総合センターが行う法定計量分野の試験・検査(型式承認、基準器、検定)や国際相互承認制度の最新動向、各種計量標準の研究開発、校正サービスなどについて紹介する。事前登録制で聴講は無料。

計量計測機器は産業、社会インフラ、医療、研究開発、教育など、あらゆる場面で使用されている。研究開発用、知的基盤用、品質管理用をはじめ、省力化、省エネルギー、環境保全機器として使用される最先端の計量計測機器・システム

また「電力・ガス・水道のスマートメーター」の企画展示を行う。スマートメーターの導入は、使用量の可視化や、省エネ、スマートグリッドなどの次世代供給システムの実現に貢献する。収集されるデータは、高齢者の見守りサービスや災害発生時の避難誘導などにさまざまな分野で活用が進められている。

出展企業の製品・技術

### 計量計測展

チノ

チノは最大500点集録が可能なデータロガー(グラフィックレコーダーとの組み合わせ)、放射率0.995以上を実現する高放射率平面黒体炉、積算電力や瞬時の電力を測定する無線ロガー、 $\approx 269$ Cから常温まで測定する本質安全防爆形白金コバルトシース測温抵抗体を展示する。

また小間内でセミナーを開催。テーマは①温度校正って何?信頼性のカギを握る校正の重要性②温度測定の科学 なぜ温度がわかるのか?③マイナスの温度の世界(絶対零度と極低温)。

### オーバル

オーバルは多種多様な現場情報を低コストに一元収集し、現場の課題を解決する920MHz帯の無線ソリューション「ミスター省エネ」を展示する。さまざまな流量を簡単に遠隔監視できる「流量監視パッケージ」は無駄や異常を監視し、省エネを推進。さらに防爆エリアでのデータ収集を可能にした「耐圧防爆形ミスター省エネ」は、製造現場のデジタル変革(DX)への貢献が期待されている。

会場では配管工事、外部電源、配線工事、取り付け工具が不要で完全工事レスな流量計「液体用電池駆動式クランプオン形超音波流量計UC-1」も展示する。

### センサエキスポジャパン

#### フィガロ技研

フィガロ技研は2050年のカーボンニュートラル実現に向け、地球温暖化係数(GWP)が低い冷媒への転換促進に貢献できる製品を提案する。

会場では「冷媒ガス漏れ検知用センサモジュール」「水素検知用センサおよびセンサモジュール」「リチウムイオン電池(LiB)の異常時に発生するガスを早期検知できるセンサ」などを紹介する。

同社はフィガロブランドが顧客から選ばれることを願い、常に品質・技術を高め、顧客の課題解決を通じて成長を目指している。「ガスセンサと言えばフィガロ技研!」と想起されるよう、顧客とともに歩み続ける(ブース番号=東2ホールS-22)。



最新の計量計測機器の提案に熱が入る(2022年計量計測展=主催者提供)

### 総合検査機器展

JIMA 2024

「第12回総合検査機器展(JIMA2024)」は、非破壊検査関連全般に関する総合展。主催は日本検査機器工業会。隔年開催され、今回は約60社・団体が出展する。

非破壊検査は超音波、磁気、渦電流、浸透、放射線、レーザー、光学などのハイテクセンサ・技術を駆使して、航空機や新幹線、車両、原子力発電所、化学プラント、橋梁などの保守検査や製造物の品質管理などをを行う。

15時からは鹿島技術研究所土質・地盤グループの永谷英基氏が「センサフュージョンによる地盤の可視化施工技術 Geo-DX」をテーマに講演。トンネルや造成といった地盤の施工において、センサフュージョンを駆使した地盤の可視化施工技術に関する取り組みについて紹介する。いずれも事前予約制で、聴講は無料。

## センサエキスポジャパン

「センサエキスポジャパン2024」は産経新聞社が主催する、IoT(モノのインターネット)社会をつなげるセンシング技術とその応用分野、機器、システム、ネットワークに関する展示会。

「センサ・センシング技術」をメインテーマに、各種センサをはじめ、センサ構成部品、試験・検査関連機器、通信デバイス、ネットワーク、ソフトウェア関連、電磁波・電磁環境適合性(EMC)・ノイズ対策などが提案される。約70社・団体が出展。新たなセンシング技術を求める研究開発者や技術者、品質管理や検査などに従事する専門家、新たなセンサの活用を検討する流通サービス業や医療機関関係者などが多く来場する。

18日11時から会議棟6階で、経済産業省製造産業局産業機械課長の須賀千鶴氏による基調講演が行われる。「製造業を巡る現状と課題」をテーマに市場の多角化や経営の複雑性の増大など、製造業のおかれている現状を整理するところから、日本企業の経営の課題を整理し、今後の製造業DX、GX、経済安全保障の政策について紹介する。

19日13時から展示会場内特設セミナー会場Tで、東京工業大学名誉教授・次世代センサ協議会会長の小林彬氏が「新オートメーションにおけるセンシング技術の構成と題して登壇する。

20日11時からセンシング技術応用研究会会長の筒井博司氏による「指教構造を有する柔らかな触覚センサとロボットハンドへの応用」をテーマにセミナーを開催する。

19日には会場内で専門技術者による特別セミナーが開催される。12時20分からサイバー・フィジカル・エンジニアリング技術研究組合の高山光弘氏が「超大型X線CT装置によるデジタルエンジニアリングへの展開」をテーマに講演。放射線エネルギーの強さが9電子ボルト級で乗用車クラスの大規模検体を扱える超大型X線CT装置による計測やデジタルエンジニアリングへの展開についての最新情報や今後の計画について紹介する。



医療や研究開発などで使用される最先端の計量計測機器が展示された(2022年計量計測展=主催者提供)

### 920MHz無線ソリューション

簡単・低コストで多様な現場情報を一元化!

流量(気体・液体・蒸気) 耐圧防爆形

圧縮空気や産業ガス ミスター省エネ対応 Eggs DELTA II

油や水 ミスター省エネ対応 フローベット-5G

蒸気 ミスター省エネ対応 EX DELTA II

流量/ガス入力ノード

計量計測展 INTERMEASURE 2024 OVAL ブース No. I-37

ご来場をお待ちしております

株式会社オーバル 本 社 東京都新宿区上落合 3-10-8 〒161-8508 TEL. 03-3360-5141・5151 FAX.03-3365-8601

## FIGARO World leader in gas sensing innovation

# ガスセンシングで安心・快適な暮らしを実現

私たちフィガロ技研は世界トップクラスの独創的なガスセンシング技術で50年以上にわたり、安全で安心・快適な暮らしを提供し続けています。

一酸化炭素 可燃性ガス 冷媒・フロン 次世代エネルギー 空気の汚れ

フィガロ技研株式会社 www.figaro.co.jp 072-728-2044 受付時間:月~金曜日 9:30~17:30(祝日および当社休日を除く)

## 最大500点を集中監視

### NEW FE series データロガー

NEW グラフィックレコーダ KR3-H 500点集録仕様

無線アクセスポイント PLC

アナログ入力・デジタル入力・デジタル出力モジュール 通信モジュール 電源モジュール

データロガーFEシリーズは、アナログ入力、デジタル入力、デジタル出力、通信、電源に分離されたモジュールで構成されたデータロガーです。現場の要望に合わせたモジュールの組合せで、柔軟なシステムを構築できます。KR-3H 500点集録仕様と組み合わせることができます。

安全・安心を支える計測・制御・監視(システム/機器/センサ)

計量計測展 INTERMEASURE 2024 当社小間 No.I-36

株式会社チノ https://www.chino.co.jp/

FE+KR-3H 500点集録について詳しくはホームページをご覧ください